

= 研修会 =

第18回 医師模擬尋問

第38回 弁護士のための医療過誤訴訟法講座

(配役)

■医師証人 浅川 敬太 弁護士 (大阪弁護士会)

■原告代理人 小林 展大 弁護士 (神奈川県弁護士会)

伊藤 朋之 弁護士 (愛知県弁護士会)

■被告代理人 宇野 裕明 弁護士 (大阪弁護士会)

【日時】 2026年3月7日(土) 午後1時00分～

【場所】 南山大学法科大学院棟(A棟)2階法廷教室

※今回は会場のみでの開催(オンライン併用なし)です。

★☆★☆★☆★ 参加費無料 ★☆★☆★☆★

主催 南山大学法曹実務教育研究センター／医療過誤問題研究会／医療事故情報センター

(お問い合わせ先) 医療事故情報センター事務局 052-951-1731

南山大学法曹実務教育研究センターと医療過誤問題研究会は、2007年から公開研修会として、毎年1回、医師模擬尋問研修を実施してきました。今年も、医療事故情報センターが加わり、同センターの第38回弁護士のための医療過誤訴訟法講座としても開催します。

実際の事件をモデルにした「急性喉頭蓋炎による窒息対応の遅れ」の事例について、救急医としてのご経験もある弁護士の浅川敬太先生に証人役をお務めいただき、南山大学法科大学院の法廷教室(模擬法廷)において、臨場感ある医師証人尋問のロールプレイを実施します。全国の弁護士の皆さんに傍聴していただき、意見交換を経て尋問技術の向上へと繋げることが期待できると思います。南山大学法科大学院生や学部生の皆さんにも、法曹実務の一端を実感していただけるはずです。

非常に貴重な医師尋問研修の機会です。多くの方のご参加(傍聴)をお待ちしています。

■参加資格 弁護士／司法修習生／法科大学院生／法学部生

※弁護士は医療事故情報センター正会員または各地医療問題弁護団・研究会所属の方に限ります。

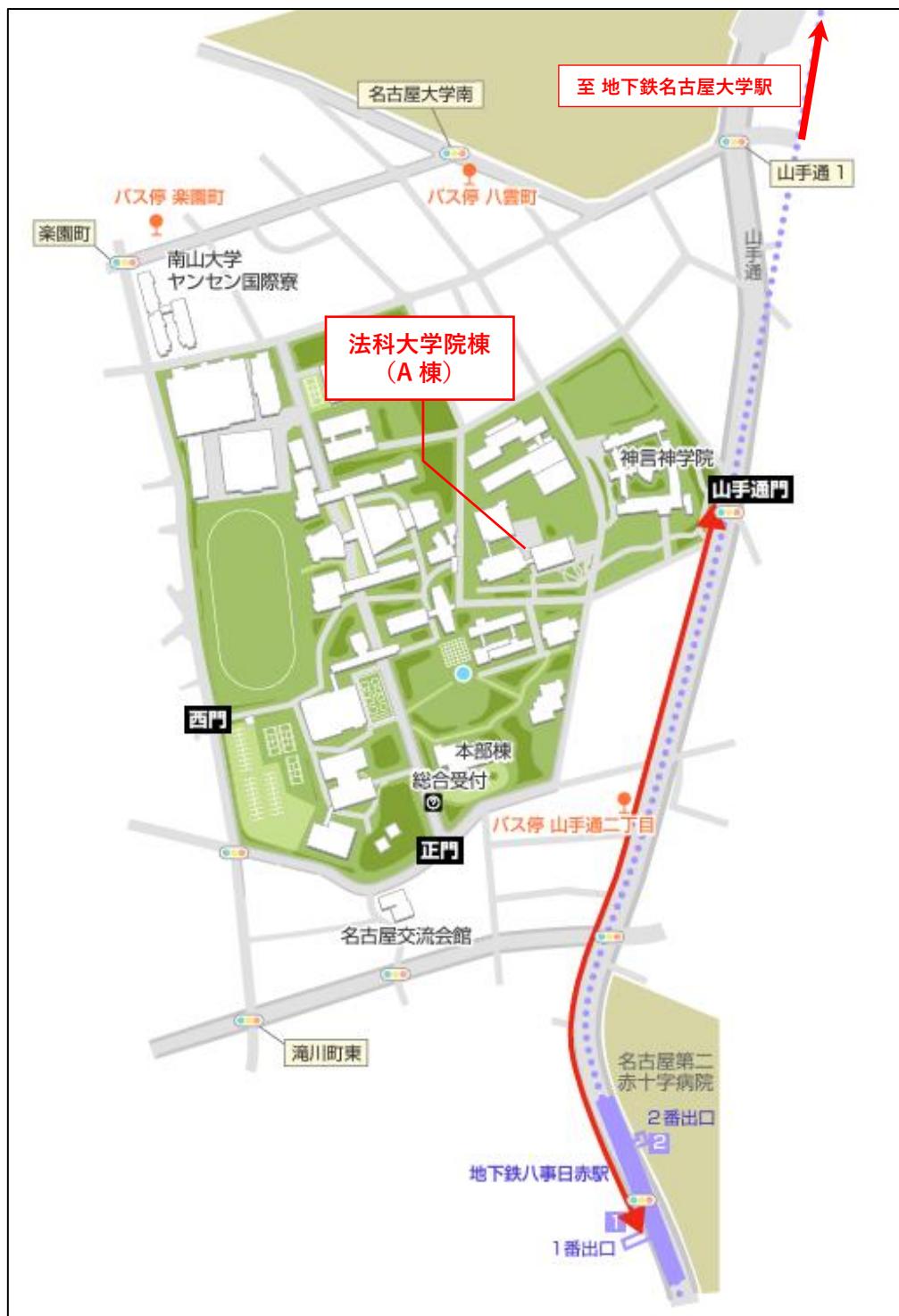
■申込み方法 次のURL(Googleフォーム)から必要事項をご入力ください。

お申し込み先: <https://forms.gle/T54aMuuh3kDLZWDM8>

※こちらのQRコードからもアクセスできます。



【会場アクセス】



(公共交通機関をご利用の場合)

・地下鉄東山線**名古屋駅** → **本山駅** (地下鉄名城線に乗り換え)

→ 地下鉄名城線**名古屋大学駅** または **八事日赤駅**下車後、徒歩約 8 分

※名古屋駅から八事日赤駅までの所要時間は概ね 30 分程度です。